

教科別採択教科書報告書

教科名 国語	分野等 国語
出版社 光村図書	書名 国語
1. 学習指導要領への対応 (1) 巻頭詩・目次の次のページに「学習の見通しをもとう」があり、学習指導要領との対応が分かりやすく、系統性を意識することができる。 (2) 「学びへの扉」では、「見通しをもつ」「実行する・試行錯誤する」「振り返る」という学習過程が組み立てられており、生徒も学習の見通しをもって取り組むことができる。 (3) 各活動の見通しを持つページが大きく、見やすい。 (4) 「学びのカギ」で指導事項を具現化する言葉の操作が示されているのがよい。	
2. 内容について (1) 言語活動を意識した「学びへの扉」が教材末に書かれていて、学習の見通しをもつことができる。 (2) QRコードが豊富に掲載されており、話し合いの場面を観察したり音声教材を活用したりすることができる。また、巻末にあるICT活用のヒントでは、各領域においてICTをどのように活用すれば良いか示唆を得ることができる。 (3) 「語彙ブック」が追加されており、言語活動に取り組む際に、参考とすることによって、生徒達の語彙を豊かにすることができる。 (4) 教材と「学びへの扉」の関係に関して、「学びへの扉」の内容をそのまま扱うこともでき、使用しなくても自然な位置であるのがよい。 (5) 「学びのカギ」が巻末にまとめられているため、他の教材で学んだこととの関連性が図りやすい。生徒がすすんで学ぶことも考えられる。	
3. 造本について (1) 「語彙ブック」が別冊のような形で綴じ込まれていて、様々な教材や言語活動の中で活用しやすいと考えられる。 (2) ICT活用が最終ページに載っているため、活用する際に参照しやすい。 (3) 古典の綴じ込み資料が生徒の興味をひくことが期待される。	